

DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2000.10.25 No.34

編集・発行 大同工業大学社会交流センター

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3

TEL 052-612-6193

No.34



滝春新キャンパス (画/堀井 憲爾氏)

CONTENTS

特集

新キャンパス講義棟竣工 第22回アメリカ短期留学

■ コンセプトコンクール

■ 研究室を訪ねて(至)

電気工学科 関谷昌久教授

■ TOPICS

日本金属学会「技術開発賞」受賞

坂 貴応用電子工学科教授

ジョン・ブラハ宇宙飛行士が来学

新任教員紹介

■ 国際交流

オレゴン州立大学生が本学研修

アーヘン工科大学一行来学

■ アンテナ

「常滑シンポジウム」参加

冠映画試写会 他

新刊著書を語る

■ 桃介を訪ねて (8)

■ ゴビーの散歩道

機械工学科 土田豊教授

■ キャンパスライフ

自動車部：全日本学生ジムカーナ大会 2連覇

クラブ活動報告

クラブ紹介 「大学祭実行委員会」

■ INFORMATION

季刊

大同工大キャンパス



秋季号 2000
OCTOBER

10

特集

新キャンパス講義棟竣工



新キャンパス整備計画による講義棟が完成し、9月13日、真新しい講義棟1階学生ホールにおいて、田中卓理事長、澤岡昭学長および多くの来賓の方々の出席のもと、竣工式が執り行われました。式後、館内を見学され、充実した施設設備に驚きと感嘆の声をあげられていました。完成した講義棟は、第1講義棟と300名収容講義棟です。300名収容講義棟は、「ゴビーホール」(ゴビーとは英語で「はぜ」)と命名されました。

これは同窓会から戴いた寄付に敬意を表したもので、同窓会のシンボルキャラクターともなっている「はぜ」から名付けられました。学生の皆さんが気付かないところと、情報処理センターの利用について紹介しましょう。

ゴビーホールの屋根板材にモネル合金を使用

ゴビーホールは、新キャンパスの中心に位置づけられて、特別講義の他各種イベントが出来る建物として建設されました。

レオナルド・ダ・ビンチの未完に終わった八角形ドームを設計思想に、ドーム梁の曲線を木材で組立、屋根にモネル合金(Ni:65%, Cu:35%)板材を張り、重厚に仕上げられ、半世紀は大丈夫とのこと。

屋内の設備には、最新鋭視聴覚教育設備200インチスクリーン等が装備されています。

演壇の周りの椅子・机は、2列までが着脱可能となっており、また前面の透明ガラス戸を全開することができます。最後列、左右隅の机は、車椅子に乗ったまま着席できます。



講義棟の窓は、15センチしか開かない

第1講義棟は、厚生施設、情報処理センターを含む複合的な建物として建設されました。

講義棟の廊下は、学生の集中的な出入りを考慮して4mと広く、学生机も若者の体格にあった机の幅にされています。

窓は危険防止のために15センチしか開きません。無論、全館冷暖房完備となっています。



◀400席の学生ホール

◀ゴビーホールは透明ガラス戸を全開可能



パワーアップした情報処理センター

新しい情報処理センター（第1講義棟3F）で後期の授業が開始されました。4つの演習室とマルチメディア教室の合わせて5教室のゆとりある快適なスペースの中で、高速ネットワークと最新の情報教育設備を利用した授業が展開されています。

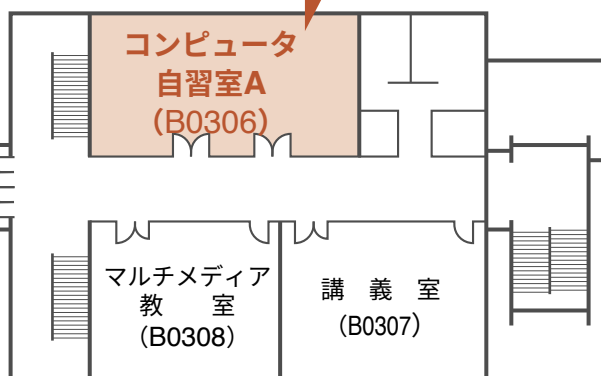
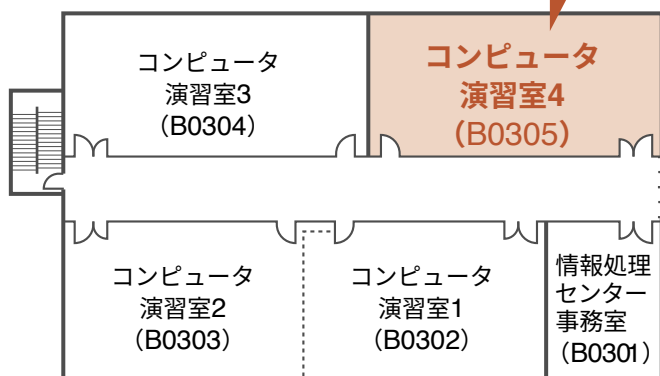
授業で身に付けた知識・技術をより理解し応用していくために、またインターネット技術をはじめとした「IT革命」の急速な進展に対応して

いくためにも、積極的な自学自習が必要不可欠です。学内には、2つのコンピュータ自習室と2箇所のサテライト（図書室、学生ホール）に自習用パソコンが140台設置されています。

また、自宅等の学外から電話回線を通じてキャンパスネットワークにアクセスできるようになりました。



情報処理センター（第1講義棟3F）



■ 入退室について

コンピュータ自習室A・B及びコンピュータ演習室4は夜間の入退室に学生証が必要です。入室と退室時に学生証をカードリーダーで読み取らせて開錠します。入退室の実績が管理システムに記録されます。利用可能な日時は情報処理センターの掲示で確認してください。

■ ホームページの学外公開

作成したホームページを学外に公開できるようになりました。希望する学生は、情報処理センター主催の「情報倫理講習会」を必ず受講してください。そして、全世界に向けて情報発信しましょう。

■ 基本操作と情報倫理

情報処理センターの施設・設備の概要や、パソコンの基礎知識情報倫理については『情報処理センターハンドブック システム2000（暫定版）』をよく読んでください。特に情報倫理に関しては、ネットワーク社会における秩序の維持と、利用者間での被害・加害の防止に必要な最小限のマナーが記載されていますので遵守してください。

■ 公衆回線接続

学生は23回線（INS1500）の利用が可能です。事前に情報処理センターへの申請が必要です。

●詳しくは、情報処理センターのホームページにアクセス!

<http://www-dit.daido-it.ac.jp/~ipcenter/>

第22回

アメリカ短期留学



▲みんなで一枚。

第22回アメリカ短期留学は、8月7日から9月6日の31日間、提携校であるオレゴン大学 (Uof O) での語学研修、小旅行などのプログラムによって行われました。

引率者は、服部文彦助教授を団長に、萩原伸幸講師、片岡智幸教室員の3名、現地で合流したパワーズ教授のサポートを受け、学生35名という近年にない参加者を得てのアメリカ短期留学でした。

初日、ポートランド国際空港に到着した際は、飛行機酔いの女子学生1名が車椅子で入国審査・税関を受けての船出となったが、その後は全員すこぶる元気で、ホームステイ、大学寮生活をエンジョイしながら生きた英語に接し国際感覚を肌に感じていました。昨年度より、英語2科目以内の単位認定制度が実施され、AEIでの語学研修は無論のこと、大学構内でのオレゴン大学生らと積極的に英会話をする姿が見受けられました。特に、修了式での97E小島啓正君の英語スピーチにインストラクター Ted Johnson、Jim Mischler 両氏らAEIのスタッフから大喝采を受けました。 (撮影：99D 外山恭平アルバム委員会)



▲卒業証をもらう時の一コマ。
今まで助けてくれたA.E.I.の方たちと握手。



▲A.E.I.の学生は本当に僕らを助けてくれた。
思い出やこちらで感じた事もいろいろ話し合った。



▶
楽しかった
オレゴンとも
お別れ。
みんなで別れを
おしんだ。



▲
ホースライド。▶
馬に乗って砂浜にも
行きました。





▲ユニバーサルスタジオでは、迫力のエンターテインメントを楽しみました。



▲ディズニーランドにて。日本でも本場でも人は集まるのだ。



▲アメリカ型式のバーベキュー。型式もいくつかある。



▲ベースボールのスタジアムにて。この後パワーズ教授の紹介でキャップをもらえました。



▲左側からミルズ氏、服部団長、フロンマイヤー オレゴン大学長、パワーズ教授

卒業証を持って、
がんばってきた成果だ。



▲スポーツアクティビティ。
スポーツは体で自分を表現できる。



▲募集パンフレット



▲現地の人と話す授業があり、自分の能力を試すことができました。

コンセプト・コンクール 「Shuttle」

応募要項 学長 澤岡 昭

画一的な大量生産時代から多品種生産の時代へ、生産性優先の社会から環境重視への社会へと、社会は大きく変化しています。

また、メールやインターネットを介したIT(情報技術)革命により、田園に住みながら国境を越えた相手とビジネスや交流を行うことが可能となっています。

21世紀、「環境」と「情報」に関する技術は、はた織り機の「シャトル」の如く、人々が想像もしない新しい「衣」を創り出すことでしょう。

私たちも、新しい衣を紡ぐ一員として、大学と社会との新しい関係を創造したいと思います。その1つが、この学園創立60周年記念事業として開催されるコンセプト・コンクールです。



ジョン・グレン宇宙飛行士と学長

1. 課題『シャトル (Shuttle) 』

シャトルとは、機織りに使う「杼」(たて糸に横糸を通す、小さい舟形の器)のことです。スペースシャトルとかシャトルバスなどの乗り物に、この言葉が使われています。また、バドミントンの羽根がシャトル・コックと呼ばれているように、「行ったり来たりする」ことが元々の意味のようです。

このコンクールでは「シャトル」を、単に物理的な杼(ひ)と捉えるのではなく、異なる人々、異なるものごと、異なる地域や場所、異なる文化などを結びつけ、一つに織りなす考え方(コンセプト)あるいは装置や仕掛けとして捉えて下さい。

あなたの考えた新しい「シャトル」が、21世紀の新しい姿を予見させてくれるものであれば、そのコンセプト(考え)を高く評価したいと思います。

2. 表現方法

以下の2部門の中から、1つの表現方法(①・②・③)を選んで下さい。

■テキスト(文字情報)部門

- ① 作文・論文：A4版400字詰め原稿用紙5～10枚。ワープロ原稿も可。なお、使用言語は日本語とします。

■ヴィジュアル・サウンド部門

- ② 図面・漫画：595mm×841mmの用紙1枚に納める。CAD、CG図面も可。なお、図面のパネル化は不可とします。
③ 映像・音：ビデオテープ、カセットテープ、CD-ROM、MO、MD、DVDに10分以内で納める。

3. 応募資格

- ◆ 中学生・高校生の部：日本に住む中学生・高校生
- ◆ 一般の部：日本に住む大学生・大学院生・社会人



4. 審査委員

- 宇野 享 氏 (株)シーラカンズ アンド アソシエイツ 建築士
玉川 惟正 氏 デュポン株式会社先端技術研究所長
福田 功 氏 中日新聞論説委員
松尾 葉子 氏 指揮者
森田 王作 氏 日本宇宙少年団名古屋分団長
澤岡 昭 氏 大同工業大学 学長

5. 表彰

表彰は、「中学生・高校生の部」「一般の部」とも、テキスト(文字情報)部門、ヴィジュアル・サウンド部門に対して以下のように表彰します。

◆ 一般の部

- 金賞 各1名 賞状及び副賞(20万円相当の旅行券)
銀賞 各2名 賞状及び副賞(10万円相当の旅行券)
銅賞 各3名 賞状及び副賞(3万円相当の旅行券)

◆ 中学生・高校生の部

- 金賞 各1名 賞状及び副賞(10万円相当の図書券)
銀賞 各2名 賞状及び副賞(5万円相当の図書券)
銅賞 各3名 賞状及び副賞(2万円相当の図書券)

6. 発表方法等

選考結果は、応募者全員に通知するとともに、中日新聞紙上ならびに本学ホームページにて発表します。

7. 著作権

応募論文・作品の著作権は応募者に属します。ただし、大同学園が表彰論文・作品を公開出版物または展示のために用いる場合は、受賞者は無償でこの使用を認めることとします。

8. 後援

愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県公立高等学校長会、中日新聞社、(株)エフエム名古屋

9. 応募・問い合わせ先

- 応募期日：2001年1月31日(当日必着)
- 大同工業大学社会交流センター 学園創立60周年記念事業委員会
(〒457-8532 名古屋市南区滝春町10-3 Tel 052-612-6193)

研究室を訪ねて 11

プラズマと環境

～ 関谷 昌久 教授 ～
(電気工学科)



プラズマ?

プラズマ。ここ数年、一般にもよく耳にする言葉です。しかし、「これを説明して下さい。」と言われて説明できる人はきっと少ないことでしょう。

大辞林第二版によると、「自由に運動する正負の荷電粒子が混在して、全体として電気的中性となっている物質の状態。気体放電によって気体分子が高度に電離した状態。」

うーん、これでわかるでしょうか？ わかりませんよね。

さて、それではこのプラズマを研究している関谷教授の研究室に参りましょう。

将来性豊かな万能選手

先生の研究室は、「放電・環境工学研究室」と呼ばれ、1号館の3階にある。名前の由来を聞くと、「放電現象を環境維持や改善に応用する研究を行う研究室」とのこと。放電とは、「絶縁物が導電性を持つ過程と導電状態」と説明を受けた。具体的に言うと、自然現象では雷、この現象を応用した製品としては蛍光灯、イグニッションプラグなどがあるという。

先生の現在の研究課題は、「プラズマの工具としての利用」と「電気集塵装置の開発」である。まずはプラズマのことについて先生に聞いた。

物質の三態については、皆さんもご存じのことでしょう。そう、固体、液体、気体のことですね。

固体に熱を加えてその温度を増していくと普通は液体になり、さらに高温にするとそれはすべて気体となります。その気体分子にさらに高い温度の熱を加えると、その熱エネルギーによって分子から負の電荷を持った電子が放出され、後に残された分子は正の電荷を持つ正イオンとなり、放出された電子は他の分子と結合し負の電荷を持つ負イオンとなります。このように電離（分子から電子が分離すること）されて生じた分子が正・負ほぼ等量存在する分子集団の状態がプラズマと呼ばれるものです。このような過程を経てできるプラズマは物質の第四の状態とも言われている。で、具体的にはどんなものがあるのですかと聞いたところ、自然界では宇宙空間、地

球周辺を取り巻く電離層、夏の夜空を走る稲妻、極地域で見られるオーロラなどがあるという。身近な工業製品では、蛍光灯、ネオンランプ、プラズマディスプレイなどがある。さらに最近では、次のような分野への応用が進んでいるという。

- **薄膜形成への応用**……原料とするガスを放電によってプラズマ化し、プラズマ中にできたラジカルが基盤上で反応し堆積することによって膜が形成される。人工ダイヤモンド、太陽電池。
- **表面改質**……プラズマ中のイオンやラジカルを固体表面に叩きつけることによって固体表面に無数の凹凸を作ったり、表面の原子や分子の構造を変えたりすることができる。その結果、他の物質との密着性が向上し表面の物理的・化学的性質が変化する。密着性の改善、浸炭処理（鋼材表面の硬化）、窒化法（鋼材などの表面の硬化）、表面酸化
- **環境改善**……有害物質をプラズマ中に置くと、電子の衝突により原子のレベルまで分解され、新しい再結合の過程を経て分子構造の異なる無害な物質に変えることができる。オゾン層破壊物質（フロン、ハロン）の無害化、発ガン性を持つ有機溶剤の分解、窒素酸化物・硫黄酸化物の分解による酸性雨の防止、発生オゾンを利用した滅菌、洗浄、漂白。

先生は将来、プラズマを利用した環境改善を中心に研究を進めたいと考えている。次に述べる電気集塵装置もその一つであるという。

電気集塵装置

先生はプラズマを利用した電気集塵装置の開発にも取り組んでいる。

電気集塵装置は主に工場における大気汚染対策として昭和40年代から使われてきており、大部分の大気汚染物質の排出は防止できるようになった。しかし、現在使われている電気集塵装置は1ミクロン以下の粒子や、直

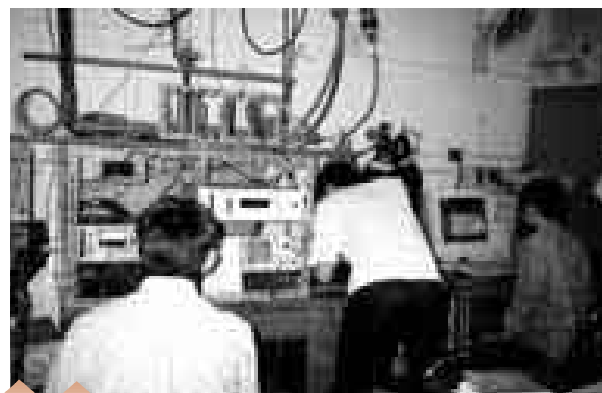
流方式であることから油などの電気抵抗の高い物質が連続的にとれない欠点があるという。そこで先生は、交流方式を採用するとともに、プラズマのオゾン発生による滅菌、洗浄作用を利用できないかと考え、現在その研究に日夜明け暮れている。

現在の課題は、交流方式はその構造上、直流方式に比べ十分な性能がでないこと。先生が考えたアイデアは、塵埃を帯電する部分と集塵部分を別にするることにより、交流方式のデメリットを解消できるというもの。また、専用電源として交番周期が可変方式の電源を考案中とのことであった。

特許出願中

先に述べたアイデアは、平成10年5月、ダイエイエンジニアリング株式会社から「電気集塵装置」として特許（特願平10-134521）を出願したとのこと。発明者は、先生と社員の佐藤任彦氏である。

このアイデアが製品になり広く普及することになれば、あのマクドナルドから出る油臭い排気臭もこの世から消えるかもしれない。



取材記者のひとり言

プラズマのことわかってもらえたかなあ。多分わからないよな。書いている本人がわかってないんだもん。はっきり言って文系出身者の限界です。

日本金属学会「技術開発賞」を受賞



坂 貴応用電子工学科教授は、10月1日 日本金属学会(大森靖也会長)から「第23回技術開発賞」を秋期金属学会大会中の名古屋大学で授賞されました。

この賞は、創意あふれる開発研究を推奨する目的で、金属工業ならびにこれに関連する新技術・

新製品などの独創的な技術開発に携わった技術者に対して授賞されるもので、「歪んだGaAs薄膜を用いたスピン編極電子線源」の研究に加藤俊宏氏(大同特殊鋼)、中西彊氏、奥見正治氏(名古屋大学)、堀中博道氏(大阪府立大学)の共同開発の業績に対して授賞されました。

NASA ジョン・ブラハ宇宙飛行士が来学

名古屋宇宙少年団名古屋支部(団長森田王作)、グループ2000、本学の主催により、10月1日(日)、この程、完成したゴビーホールで、ジョン・ブラハ宇宙飛行士の講演が開催されました。

ジョン・ブラハ宇宙飛行士は、スペースシャトルに1989年から1997年にかけて6回搭乗、1996年にはソビエトのミールとドッキングし、4ヶ月間の宇宙に滞在しました。

講演はビデオをもとに、宇宙科学に興味をひくようにとやさしく、分かり易い宇宙飛行の体験談を語ってくれました。

その後、学生ホールに場所を移して交歓会が開かれ、宇宙少年団の子供達と一般参加者ら70名余はジョン・ブラハ宇宙飛行士との記念撮影会やサインを行ないました。参加者は気軽に迎えてくれる宇宙飛行士に満足していました。



新任教員紹介 10月1日付で本学に着任されました先生方です。自己紹介をして頂きます。

応用電子工学科教授 **岩間 尚文** (いわま なおふみ)

- 出身大学: 名古屋大学大学院 博士課程満了
- 学 位: 工学博士 名古屋大学
- 最終前歴: 富山県立大学電子情報工学科
- 生年月日: 昭和20年3月7日
- 趣 味: 音楽鑑賞



富山県大の創設2年前に県庁の門をくぐり、赴任から9年になります。学年進行での博士完成まで大学づくりの大きなものを経験して、再び名古屋の、しかもいま最も活気ある大学で働かせて頂くことになりました。専門は情報工学、画像処理です。断層撮像(CT)・ホログラフィのような画像合成やスペクトル解析を得意としますが、画像計測、信号処理、ニューロ、何でもやります。情報工学はこれからの大学教育のかぎです。この大きく変わりつつある大学に、計算機のアーキテクチャを含む情報処理の教育研究を築かなくてはと、責任を感じます。数理人間だからでしょうか、文化的なもの歴史的なものすべてに関心があります。富山はお祭りと水の豊かな良い地方でした。写真は数年前、ブラジルから貯金をはたいて帰ってきてくれた留学生第一号と宿舍でのスナップです。言葉の壁を越えて、笑いで一杯でした。富山での記念すべき一枚です。

建設工学科建築学専攻講師 **渡邊 慎一** (わたなべ しんいち)

- 出身大学: 名古屋工業大学大学院 博士後期課程修了
- 学 位: 博士(工学) 名古屋工業大学
- 最終前歴: 名古屋工業大学大学院ベンチャー・ビジネス・ラボトリー
- 生年月日: 昭和44年3月22日
- 趣 味: 音楽を聴くこと、そして楽しく酒を飲むこと。



私は「暑さ」「寒さ」に興味があります。夏は暑い、冬は寒い、当たり前のことでしょう。では、どのような環境で暑さや寒さを感じるのでしょうか。また、人間にとって真の快適な環境とはどのようなものなのでしょうか。このような問題を、生活、建築、都市、気候の視点から解き明かしていきたいと考えています。学位論文では「こたつ」の研究を行いました。あまりにも身近なモノでありながらも、そこに含まれる多くの役割や意義、そして課題を実感し、そこから多くのことを学びました。是非、学生の皆さんと講義や研究を通して、物事を深く知る楽しさを共有し、そこから思い描く未来像を議論していきたいと考えております。また、企業での建築設計の経験を活かし、積極的に設計コンペ等にチャレンジしていきたいと考えています。最後になりますが、「礼儀正しく」「常に楽しく」「やる時はやる」これが私の基本方針です。どうぞよろしくお願いいたします。

オレゴン州立大学生が本学で研修

学術提携校の学生と本学学生との交流を図る奨学金制度によって、オレゴン州立大学3年次生 レニー・マイノールさん(Renee Minor)が、8月2日から8月30日の29日間、来訪しました。

その間、桑山教授をはじめ建設工学科土木工学専攻教員宅でのホームスティと大同特殊鋼知多寮で宿泊をしながら、本学学生との親交を深めたり、名古屋・金沢・京都見学や名古屋高速道路・揖斐川工事現場などで研修をしました。レニー・マイノールさんから日本の印象記を寄稿して頂きました。

お世話になった皆様へ

オレゴン州立大学 Renee Minor

この度は、私どもに一ヶ月の日本滞在の機会を与えて下さり、ありがとうございました。滞在期間中に沢山のことを見聞することができましたので、ここにいくつかお話をさせていただきますと存じます。

外国を旅したとき、明らかな違いを感じるのには食べ物です。日本人が消費するお米の量には驚きましたが、でも、こちらへ来る前は、もっと沢山食べるのかと思っていました。アメリカで代表的な夏の味覚といえばなんといっても果物ですが、日本ではそれほどポピュラーではないような気がします。面白かったのはね葡萄の食べ方です。アメリカでは皮ごと食べてしまいますが、日本人はいちいち出すんですね。

また、道路の通行の仕方が全く異なっています。アメリカでは車は右側を走行しますが、日本では左側走行。同じようなことが、階段や歩道などの人が行き交う場でも言えます。アメリカでは人間が歩くときも右側通行ですが、日本は左側通行です。この違いに関してだけは、最後まで慣れることができませんでした。

街の中で発見したもう一つの違いは、アメリカの都市と比べると、名古屋は静かできれいだということです。それに、日本ではアメリカほど交通渋滞もなかったように思います。

これはきっと、バスや電車といった公共交通機関を利用する人が多いからでしょう。個人的な感想として、アメリカ人も日本を見習ってもっと公共交通機関を利用すべきだと思いました。

この他にも、いろいろ小さな点で気づいたことがあります。アメリカでは男性も当然家のことを手伝うべきとされているので、たいていは家事の半分を分担しています。しかし、日本の男性はそういう社会的要求がないせいか、手伝わない人が多いようです。それから、日本にはアメリカの約2倍のコンビニエンスストアがあり、私たちよりはるかによく利用していますね。あと、アメリカの人たちは、よく自宅の水道から汲んだ水をウォーターボトルに入れて持ち歩きますが、日本では飲み物として水はあまり一般的ではないし、とくに水道水は、皆飲まないように見受けました。



以上、私が発見した数々の異文化のほんの一部を述べさせていただきました。もっとこちらに滞在できたなら、さぞ多くの違いを知ることができただろうと思います。こうして日本訪問の機会をいただきましたことに、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

敬具

Renee Minor



提携校アーヘン工科大学一行が来訪

アーヘン工科大学 Pietch教授、Moelle教授他大学院生一行10名が、名古屋大学電気工学科大久保教授の招きで来訪される機会に、9月30日、本学にも立ち寄って頂きました。

本学近藤電気工学科教授とアーヘン工科大学 Pietch教授とは、国際学会で顔見知りということもあり実現したものです。

一行は、情報処理センターのパソコン演習室、近藤教授、岩間教授、藤田教授の研究室を見学した後、共同研究・学生交換交流について歓談をしました。



芸術家の祭典 常滑シンポジウムに参加

中部国際空港の建設予定地を目の前に望むヨットハーバー鬼崎フィッシャリーナの臨海公園で芸術家たちの祭典である常滑シンポジウムが、7月29日から8月27日の間、開催されました。



石の芸術家たちが県下より集り、彫刻美を競い合う祭典に本学も後援し、建設工学科五島研究室が参加しました。青木伸浩卒業生を先頭に卒研究生、院生らが協力して陶芸家用の窯を制作。アーチの制作を研究課題として取り組んできた研究室としては、フリーハンド工法、フリーハンド応用工法の実践研究として煉瓦造トンネル・ヴォールト、ドーム状ヴォールトを制作しました。窯内部の温度は1300度まで達し、焼成温度としては申し分のない窯を完成させた。その制作には多くの陶芸家や彫刻家も携わり、食事や休憩の時間ともなると交流の輪ができて、賑やかなひとときを過ごすことができました。

陶芸窯では2000年にちなんだ2000匹の魚の作品が焼かれ、石の彫刻と並んで会場を飾り、土・日曜日ともなると多くの家族連れが訪れ、思い思いに展示物に見入っていました。（五島研究室）

新キャンパス 巨大クスノキ誕生

新キャンパスの高層棟横に高さ15メートルの巨大なクスノキが10月15日に移植されました。

この木は、「本学の源流・電力王」福沢桃介が暮らしていた福沢邸（大同特殊鋼 二葉荘、名古屋市東区白壁三）にあった樹齢百年を越すクスノキです。福沢邸は、白い壁にオレンジ色の屋根のしゃれた2階建て。老朽化のため今年三月解体され、名古屋市に寄贈されているそうです。



このことは、15日の中日新聞の通風筒の欄でも紹介されました。

残ったクスノキが、新しいキャンパスで根を張り、緑の葉を茂らせてくれる日が楽しみです。なお、福沢桃介ゆかりの三色桃の木もこの付近に植樹されます。

冠映画試写会 「タイタン A.E.」大盛況

本学協賛冠映画試写会（主催 名古屋テレビ放送、朝日新聞社）20世紀フォックス映画「タイタン A.E.」が8月3日（木）午後6時半から愛知県勤労会館で開催されました。



最新鋭の映像技術3D-CGIを使い、リアルな映像で実写をも凌ぐ迫力と圧倒的なスケールと声優陣が豪華です。マッド・デimon、ドリユー・バリモア、ビル・プルマンなど人気俳優が起用され、アニメ映画では珍しく、字幕スーパーと日本語吹き替え映画の二本立て上映で話題となっています。

3300余名の応募者から、抽選に当たった800余名の入場者で大盛況でした。



公開講演会 「ボローニャのタベ」

10月5日、ゴビーホールにおいて、イタリア中部エミリア・ローマーニャの州都、ボローニャ大学のジャン・マリオ・アンセルミ教授の講演「ボローニャのタベ」が開催されました。一般社会人や学生らで満席に埋まった会場で、文化都市ボローニャの大学都市とボローニャ大学の展望について気さくに語って頂きました。



「Gian Mario ANSELMi（ジャン・マリオ・アンセルミ）イタリア・ボローニャ大学哲学部教授」は服部人文社会教室助教授の平成12年度日本学術振興会招聘研究者として、10月3日から10月16日の間、研究討議等で滞在されました。



「親子理科教室」、「パソコン工房」

小学生対象の公開講座「親と子の金属工作」親子理科教室が7月29日（土）、大同校舎9号館1階ホールと工作実験実習室で、一般社会人対象の「パソコン工房：パソコンを作ろう」が7月22日（土）大同校舎電気工学科実験室でそれぞれ開催されました。



「親と子の金属工作」は、青山機械工学科教授の指導のもと、工作実験実習室職員の協力を得て実施されました。当初、15組30名の募集のところ、その倍以上の申し込みがあり、急遽、午前・午後の2回講座を開催することになるなど大盛況で、参加した子供達も夏休みの課題が出来るなど、作品の仕上がりに満足していました。



「パソコン工房」は、山田電気工学科助教授の指導のもと、アロシシステム株式会社の協力を得て開講しました。受講者の内に60才後半の人が一人みえ、開講当初、居場所を間違えたのでは無いかと思われるほど落ち着かない様子でしたが、指導助手の手助けにより、完成することが出来て、スイッチを入れ画像が映った瞬間、「おおつ」と感激のあまり大声を張り上げて喜んでいました。



新刊著書を語る

超親水・超撥水化技術

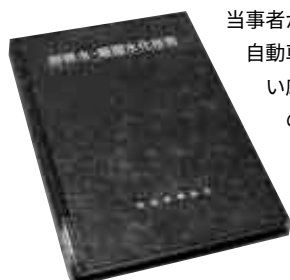
A4版 217ページ

著者：機械工学科教授 山内五郎 他

出版社：技術情報協会

発行日：2000. 1. 30

図書紹介：超親水・超撥水化技術は日本が世界に先行している分野である。最近、光触媒性二酸化チタンを用いた超親水・超撥水化技術が注目をあびているが、この本はその技術を開発発展させてきた当事者が、基礎から応用まで解説したものである。自動車、建築、医療福祉、情報通信など、幅広い応用分野を有していることから、今後のこの分野の発展が期待されている。



図説 大聖堂物語 ～ゴシックの建築と美術～

B5版 120ページ

著者：佐藤達生 木俣元一

出版社：河出書房新社

発行日：2000. 7. 21

図書紹介：本書は、ヨーロッパの一つの時代を象徴する建築＜大聖堂＞を話題の中心に据えながら、ゴシックの建築と美術について分かり易く解説したものである。昨年、一般向けの本をということで出版社から依頼があり、美術史家の木俣元一氏（名古屋大学助教授）と共同で執筆することとした。幸い同僚や出版社からの評判は大変良く、また女子パウロ会が大量に買い上げてくれるなど売れ行きも好調との話を伺っており、ひとまず安心している。



建設工学科教授 佐藤達生



東海道新幹線を構想 ～名鉄名古屋本線を残す～

前号は、茂吉先生に桃介と三色桃のはなしを「ゴビーの散歩道」に書いていただきましたので、「桃介を訪ねて」はお休みしました。

今回は電力王桃介は鉄道王にもなったかもしれないという話です。

木曽川を舞台に、いくつもの大型発電所建設計画を実行しつつあった桃介は、他方で電力を大量に消費する事業を興そうとして、二つの柱を立てた。その一つが昨年10月号に紹介した製鉄製鋼業で、もう一つが鉄道事業であった。

彼はアメリカ留学中に、アメリカの鉄道の隆盛を目の当たりにし、また自ら米国最大の鉄道会社ペンシルバニア社に入り1年間にわたって鉄道業務を実習してきており、鉄道産業は彼の夢のひとつであったに違いない。

桃介は大正8年、東海電気鉄道(株)を設立して社長に就任した。また、福岡市の福博鉄道、神戸鉄道、横浜鉄道(京浜電車)などの経営にも関与した。しかし、ローカル線では彼の夢にはほど遠く、程なくこれらの鉄道会社から手を引いてしまった。

さて、彼はいよいよ新幹線建設の構想を実現に移そうとした。その有様を大同特殊鋼の社内報「ふれあいDAIDO」1992年8月号はこう述べている。

当時の鉄道経営の最大の障害は、幹線の大部分が国有化されており、国鉄(JRの前身)の路線に並行する線や競争できそうな線は一切認可されなかったことである。(中略)彼は、直接、鉄道界の大立者と目されていた後藤新平のもとに乗り込み、私鉄の必要性を説いたのである。

「国鉄は本当にだらしがない。石炭をたいて走らせているので客席に煙は入ってくるし、設備が古ければサービスも悪い。あれでは紳士淑女を乗せる車でなく、荷物をのせる貨車です。こんなことをしては、欧米の交通機関に10年も20年も遅れていくばかりでしょう。」

またさらに言葉を継ぎ、こう畳みかけた。
「国鉄を改善しようと思えば、民間の競争線を許するのが一番の近道です。(中略)競争だけが事態の改善をもたらします。私は国鉄の東海道線に並行する電気鉄道の大計画を立てており、ぜひ閣下のご賛同をいただきたい。」

後藤に促され、桃介は設計図、工事費予算表、完成絵図などを机上に広げた。

桃介の設計では、高速度の清潔な電気機関車が、東海道線に並行して東京・大阪間を走るといったものであった。資金は、財閥として名をなした一代の英傑、安田善次郎を説いて、その全面的なバックアップをとりつけていた。

話を聞いて後藤は、桃介に対する協力をその場で約束した。これ以後、様々な政治問題や官僚の抵抗を、後藤が押し切った。

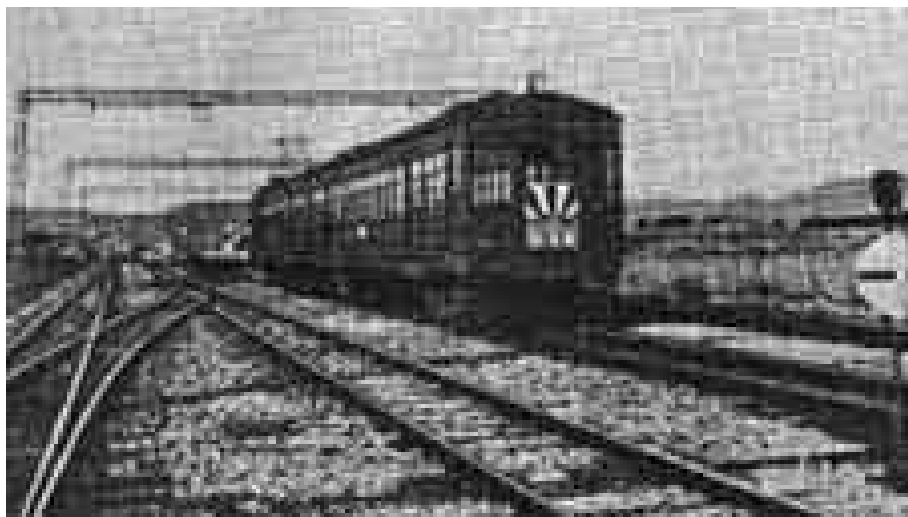
こうして、路線敷設の認可も得た。しかし、大正10年9月28日、頼みの安田善次郎が暴漢に刺殺され、桃介の東海道新幹線の夢は志半ばで挫折した。

現在名鉄常滑線となっている熱田伝馬町と大野間に電車を走らせていたのが愛知電気鉄道株式会社である。桃介は大正3年から6年までこの愛知電鉄の社長をつとめた。その縁で桃介は挫折した東海道新幹線計画の一部、すなわち名古屋～豊橋間を、この愛知電鉄に引き継がせた。

名古屋鉄道社史に、開通してまもない昭和2年のデータが載っている。熱田～豊橋間を国鉄東海道線が110分かかるとに対し、愛知電鉄の特急は63分。時速59 kmは当時日本一の高速運転であった。この線はその後、名鉄電車名古屋本線となり、東海地区の発展に大きく貢献した。

【参考資料】

大同特殊鋼(株)社内報「ふれあいDAIDO」
1992年8月号、名古屋鉄道社史(昭和36年発行)



愛電自慢の特急あさひ号(名鉄社史)

福沢桃介とは

明治から昭和にかけて名古屋を中心に電力・鉄道・製鋼の事業に活躍した天才的な実業家。本学の創立は昭和39年であるが、前史をさかのぼれば、昭和14年大同製鋼による大同工業学校の設立に、さらには大同製鋼の創立者でもある福沢桃介に至る。桃介の溢れる創意とチャレンジ精神、合理的な思考と国際的な視野には学ぶべきところが多く、本学の「学祖」と言ってもいいかもしれない。なお、福沢諭吉のむすめ婿としても知られている。

ゴビーの

散歩道



今回の海外出張の目的は、スロベニアで開かれたICEM2000での論文発表と学術提携校であるアーヘン工科大学との3ヶ年の国際共同研究についての中間討議でした。この共同研究は文部省の科学研究費からも助成されており、旅費の大部分が文部省から補助されています。ICEMは製造技術におけるエコロジー（環境経済）とエコノミー（経済）に関する国際ワークショップの略です。今や、地球環境の問題は機械の設計や製造技術にまで深く関係しており、主として塑性加工分野を専門とする学術研究者によりこのワークショップが組織されました。今回は、主に欧州と日本との製造技術に関わる研究者により、経済（エコノミー）と環境（エコロジー）を両立するための戦略レベルの考え方を討議し、これに関する個別の研究発表がなされました。

ICEM2000開催国のスロベニアは旧ユーゴスラビアから1991年に独立した東西200km、南北100km程の小国で、オーストリアの南、イタリアの東に位置しています。国の北部はアルプスの東南端となっており、登山やラフティングが楽しめます。西端はアドリ



アーヘン大聖堂

ア海に面しており、ベニス風の町並みや南欧風の風景を見ることができるそうです。また、南半分の地域ではブドウ畑が広がっており、ワインの産地であるとも聞きました。石灰岩質の地質のため、鍾乳洞も散在しています。農業が主体の国だと思われそうですが、ドイツの製造業に必要な金型などの付加価値の高い工業製品を重視しているようです。このことは、会議の冒頭に科学技術担当大臣が御挨拶にいられたことから推察されます。

開催地であるブレッドはオーストリアとスロベニアの国境に近い保養地であり、旧ユーゴスラビアのチトー大統領の別荘もあったところです。中央に小島を有する周囲4km程のブレッド湖が三方を緑の山に囲まれており、「芦ノ湖」と言ったところでしょうか。切立った崖には城が残っており、中世に思いを馳せることもできます。湖畔のホテルには欧州各国からの団体の旅行者で賑わってありました。独立間もない国ですが、ホテルや商店の人々は流暢に英語を話しておりました。日本からも、2週間ほどの山登りツアーがあるとのこと。ブレッドの町中には富士フィルムの宣伝をよく見かけました。ウィーンから空路1時間ほどであり、古都ウィーンとの組合せで旅行するのも興かと考えます。

アーヘンはカール大帝の町。日本の商社などが多いデュッセルドルフから鉄道で1.5時間程西方に行ったところ。奈良か京都に相当するでしょうか。ヨーロッパのほぼ中心にあり、ベルギーやオランダとの国境に近く、フランスも遠くありません。町の中心には世界文化遺産に指定されているアーヘン大聖堂があります。アーヘン工科大学はその北の方に位置しており、工科大学として世界的に著名ですが、医学部や経済学部なども有しています。大学訪問の翌日、帰国の飛行機の出発が遅い時間であったため、飛行場への移動に



土田 豊 機械工学科教授

ライン上り(?)を選びました。コブレンツで列車を乗継ぎ、ライン川の左岸をサントゴアールハウゼンまで行き、船に乗換えしました。有名なローレライやシェーンブルグ城などの川沿いに残る古城を眺めました。天候に恵まれたのは良かったのですが、急流で知られるライン川を遡るのですから、4時間余りもかかり、リュージュスハイムで下船しました。ここはブドウ畑が広がり散策するのもよいと案内書で読んでいたのですが、時間をとることが出来ず、重い旅行カバンをガタゴトと700m程押して移動。ヤットの思いでフランクフルト行きの列車に乘れました。人のやらないことには苦労があるものです。しかし、思い出に残る1コマでもあります。

今回の旅行を通して、食べ物豊かなこと、人々が余裕を持って生活しているように感じました。製造技術もエコノミーやエコロジーばかりでなく、人々の生活を損なわないような発展が必要と認識した出張であったと言えます。

なお、アーヘン工科大学との学術提携関係は親密に行われており、昨年は、教員1名が本学を訪問し、研究討議をした他、2名のアーヘン工科大学の学生が本学を拠点としてインターンシップの研修を行っております。さらに、本学学生が、本年前期に5ヶ月間の語学留学をしております。



ホテルから望んだブレッド湖

自動車部

鈴鹿市長杯全日本学生ジムカーナ大会 やったアー 2連覇達成!

全日本学生自動車連盟主催の全日本大会が8月26日、27日の両日にわたって鈴鹿サーキット南コースに、全国113加盟校から地区予選で勝ち抜いた精鋭52大学によって開催され、昨年に続いて全員一丸となって堂々の2連覇を達成しました。

初日、予選ラウンドが行われ、本学などのシード校含めて決勝進出は早くから現地入りして万全な体制で挑んだ慶応義塾大、同志社など23校に絞られた。

決勝当日は猛暑、額から流れ落ちる汗が目目に染み、ハンドルの手が汗ばむなど過酷な条件のもとでレースが繰り広げられた。一本目、97M宮脇英史君が好タイムをたたきだす。目まぐるしく順位が変わるなかで、一本目の終わった時点では、関東勢の立教、中央、日本、慶応。関西勢の立命館、京都、京都産大、関西学院と本学に優勝争いが絞られた。二本目、暑さはさらに増し灼熱の地獄となった。他大学の選手が次から次へとタイムアップしていくなか、97M河野大作君が昨年の経験を生かして好タイムを出した。そして三本目、97M岡林貴史君がきっちり走り、同タイムであった慶応義塾大を引き離して優勝を決めました。



<喜びの声>

熾烈な戦いでの勝利だった。勝てて、ほっとしています。

優勝 大同工大

2位 慶応義塾大学 3位 日本大学 4位 立教大学 5位 東京農業大学 6位 関西学院大学

クラブ紹介

「大学祭実行委員会」

21世紀を迎えて、大きく変わります!

委員長

加藤貴久さん

ついに21世紀が間近になり、大同工大もそれに伴い新キャンパスの完成を迎えるわけですが、21世紀は車が空を走るとか、モノレールが日常で乗れるとか、月面都市ができるなどと言われています。21世紀が目になってみてもまだまだ遠い話みたいで、身近にあるハイテクといえば、新キャンパスでは夜でも学生証を機械に通せば入れるという機能があるぐらいだと思います。でも、一人一人の考え方は21世紀になって大きく変わってくると思います。例えば、来年入ってくる01生は高校から大学生になったという心境の変化などは、(毎年そうだけど) 21世紀になったのだからこんな事、あんな事をやってみようと思いを描いてくると思います。私も来年こそ全ての授業に出ようと、それもそうですが、私たち大学祭実行委員会も大きく変わろうとしています。

やはり、21世紀という事から大学祭の中間企画をより多くの学生が参加したくなるようなイベントを考えたり、また、本祭も昨年、滝春にあったステージを新キャンパス内に置くとか、キャンパスが広くなり模擬店の配置などを考えたりで、私たち大学祭実行委員会は充実し

た日々を送っています。先ほどから大学祭実行委員会という言葉が出てくるのですが、いったいなんだと思う人もいると思うんですが、字を見てわかるように大学祭を作る人というわけで、高校と違うのは、きつい言い方をすれば先生に言われてやるのではなく、やりたい人がやるというのが大学であり、そこで生まれたのが私たち大学祭実行委員会です。模擬店はクラブ員や女子大生、有志たちでやり、私たちの活動は模擬店の環境作りや様々なイベントの企画をしたり、また、祭りを盛り上げるためのステージにどんなアーティストを呼ぶのかを決めたりします。祭り好きの人、みんなとは違う事をやりたい人、他大学の学生と友達になりたい人は是非入会して下さい。



バレー部

東海大学バレーボールリーグ戦 秋季大会優勝！

9月24日から10月21日にかけて開催された東海大学男女バレーボール（2部）リーグ戦秋季大会で見事優勝を決めました。

試合は、名古屋大学、名古屋学院大学との優勝争いのなか、最終戦の愛知工業大学戦を接戦の末、破った本学が優勝し、1部リーグに9年ぶりの復活を果たしました。



秋季2部リーグの結果

大同工大	3-0	中部大学	大同工大	3-1	岐阜大学
大同工大	3-0	名古屋大学	大同工大	3-1	愛知工業大学
大同工大	0-3	名古屋学院大			

ハンドボール部

東海学生秋季リーグデビュー 1年で2部に昇格

9月3日から開幕した東海学生ハンドボール秋季リーグ戦（3部）で、春季リーグ戦の好調さを持続させて見事優勝を果たしました。引き続き10月14日、石井記念体育館で行われた2部との入替戦において、東海学園大学に圧勝し堂々と2部昇格を決めました。このリーグ戦において、00D板橋孝典君が優秀選手の栄誉に輝きました。

秋季3部リーグの結果

第1回戦	大同工大 34-14	岐阜経済大学	第5回戦	大同工大 37-6	名古屋商科大学
第2回戦	大同工大 30-13	愛知大学	第6回戦	大同工大 29-16	愛知学泉大学
第3回戦	大同工大 25-17	日本福祉大学	第7回戦	大同工大 44-11	三重大
第4回戦	大同工大 26-7	南山大学	入替戦	大同工大 38-8	東海学園大学



クラブ活動報告

バドミントン部

6/13~17

第48回愛知学生バドミントン選手権大会

97E 荒井輝也	シングルス	3回戦
97A 宮田 亮	シングルス	2回戦
98M 北村裕一	シングルス	2回戦
99C 米田真也	シングルス	2回戦

自動車部

8/5~6

全中部学生ジムカーナ選手権

97C 岡森・97M 河野・97M 宮脇	
団体 優勝	
97M 高松明日香	5位
95C 近藤立志樹	6位

7/9

東海シリーズ第6戦

97C 岡森貴史	A 11位
----------	-------

8/5~6

全日本学生ダートトライアル

97M 長屋・97M 宮脇・98M 松永	
団体	16位

剣道部

9/17

第43回東海学生剣道新人優勝大会

団体戦

大同工大	4-3	愛知工業大学	1回戦
大同工大	2-0	愛知学院大学B	2回戦

9/24

第74回東海学生剣道優勝大会

団体戦

大同工大	2-3	同朋大学
------	-----	------

ラグビー部

6/4

東海学生7人制ラグビーフットボール大会

大同工大	32-0	静岡大学
大同工大	0-26	朝日大学

レーシングカート部

6/27・7/2

全日本選手権安心院大会

97M 横地 学	ICA
T.T	18位 決勝 21位

漕艇部

7/1~2

中部学生ボート選手権大会

男子舵手付きフォア	決勝3位
男子ナックルフォア	決勝8位

8/6

第42回市民スポーツ祭ボート競技

FMラジオで実況放送、フォアで優勝を果たす
男子舵手付きフォア **優勝**

8/24~27

第27回全日本大学選手権大会

男子舵手付きフォア	敗復3位
-----------	------

10/1

第18回なごやレガッタ

男子舵手付きフォア	決勝2位
-----------	------

クラブ活動報告

キャンパスカレンダー

11月

- 6日(月) 就職自己表現テスト期間
【3年次・1年院生】(8日まで)
12日(日) 錦杯学内レガッタ大会
24日(金) 第2回就職ガイダンス(土日除く30日まで)

12月

- 4日(月) 就職模擬試験(6日まで)
5日(火) 日本育英会返還説明会【4年次生】
16日(土) 補講日
21日(木) 後期集中講義(休日除く27日まで)
冬季休業期間(1月7日まで)

2001/1月

- 4日(木) スキースクール(9日まで)
10日(水) 開講
13日(土) 補講日
15日(月) 就職エントリー試験
(エントリーシート提出締切日)
17日(水) 補講日
22日(月) 補講期間(23日まで)
24日(水) 後期定期試験期間
(土日除く2月8日まで)
大学院生就職懇談会(26日まで)

クリーンキャンパス

呼びかけよう!
クリーンキャンパス

催事情報

開放授業(総合科目監)

「危機管理と人間力」

会場:ゴビーホール

●11月10日(金) 14:00~17:50

「コンピュータ2000年問題その後」

岩田晃応用電子工学科教授

●11月24日(金) 14:00~17:50

「古典にまなぶマキャヴェッリの危機管理」

服部文彦一般教養助教授

●12月1日(金) 14:00~17:50

「くこころ」のエネルギー」

松浦均教職課程助教授

ホームページだより

● 大学ホームページがリニューアル

大学のトップページのデザインを変更しました。従来のトップページデザインは、平成8年4月に本学教職員の有志により開設されて以来4年余の間慣れ親しんだものでした。



今回のデザイン変更は大学ホームページの全面リニューアルの一環として行ったもので、今後はコンテンツの変更を含めリニューアルを進めていく計画です。

同窓会だより

● ゴビーホール竣工記念講演会

同窓会の援助をもとに完成したゴビーホールの柿落としとして、9月30日(土)「進展するIT革命」と題してNTT西日本名古屋支店マルチメディア推進事業部 藤本久氏のゴビーホール竣工記念講演会が、あいち・豊田・三重支部とともに開催されました。



講演は、最近の情報通信技術の急速な進化による、従来のビジネス形態、商習慣、生活環境のドラスティックな変化についての専門的な事柄について



分かり易く語って頂きました。当日は、同窓生をはじめ学生の聴講者でほぼ満席となり、講演内容に真剣な眼差しで聞き入っていました。

(同窓会事務局)

■ 編集後記 ■

表紙を飾って頂いた堀井先生有り難うございました。またまたやったね。自動車部の全日本2連覇はお見事。ハンドボール部も凄い。全員1年生メンバーで、今年4月誕生したと思ったら、とんとんと2部昇格を決めちゃうんだもん驚きだよ。12月になると14階建本部棟・大型実験棟が完成して新年を迎える。さあ21世紀だ、頑張ろう!

社会交流センター
E-mail: pccir@daido-it.ac.jp

大同工業大学ホームページ
<http://www.daido-it.ac.jp/>